

入院患者さんの1日の流れ

～パーキンソン病リハビリ・薬剤調整目的で
入院された場合～

ケース1

看護師・リハビリスタッフ・
薬剤師が医師と相談し、
こまかな薬剤調整をしていきます。

リハビリは理学療法・作業療法・
言語療法の3種類のリハビリを、
平日は毎日行います。

自分でお薬が飲めるように
練習していきます。

6:00～



○ 起床

7:00～

○ 朝食・歯磨き



11:00～

○ 検温
○ リハビリ
○ 入浴 (2回/週予定)



12:00～

○ 昼食・歯磨き



13:20~

○ リハビリ・入浴

※ 朝に入浴できなかった患者さんは午後に入浴します。



18:00~

○ 夕食・歯磨き

患者さんには病状日誌をつけていただくこともあります。



あなたの1日の症状パターンを記録しましょう! 記入例

【記入日】 20 / 4 年 7 月 / 8 日

起床から就寝まで、30分ごとに記入!

ジスキネジアがあれば、その程度を2段階でチェック!

その時間での動きやすさの程度を3段階でチェック!

睡眠時間をすべてチェック! 昼寝時間も忘れずに!

食事した時間にチェック! 間食した時間も忘れずに!

レボドバ製剤[®]を服用した時間にチェック!

※:レボドバ(レドバともいう)製剤の商品名:スタレボ[®] 配合錠 L100/L50、メネソット[®]、ネオバドストン[®]、マドバ[®]、イーシードバール[®]、ネオバドソール[®] など
★ チェックは ーでも、○でも、✓でもよく、思うように記入できない場合は、ご家族の記入でも結構です。

薬剤師からも薬の説明をさせていただきます。

21:00~



○ 消灯

夜間は看護師が1時間ごとに巡視をしています。

おむつ・尿器の使用、トイレ誘導など、患者さんにあわせた排泄方法を工夫していきます。



いつでも気軽にナースコールにてお知らせください

